

静岡県民オリエンテーリング大会プログラム



2022年4月10日(日)

荒天時は延期または中止します。前日までにホームページ上で発表します。

浜松オリエンテーリングクラブホームページ: <http://www.orienteering.com/~hama-olc/>

場 所: 小笠山総合運動公園エコパ

集合場所: 小笠山総合運動公園 エコパスタジアムチケット売り場前

受付時間: 9:00~9:30 (12:30 全日程終了予定)

主催 静岡県オリエンテーリング協会、浜松オリエンテーリングクラブ

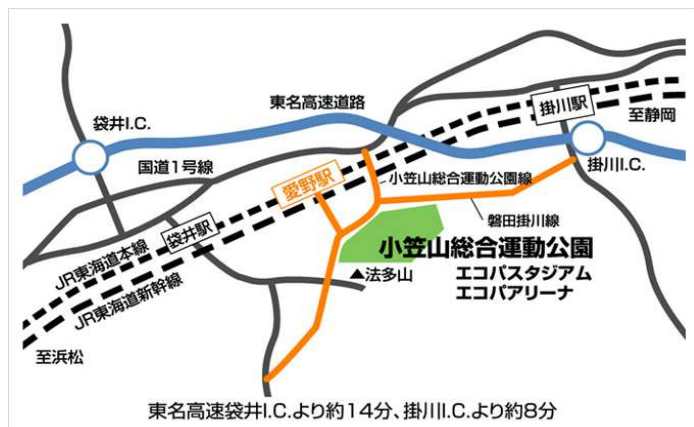
後援 袋井市、小笠山総合運動公園エコパ

交 通

公共交通: JR 東海道本線「愛野駅」から徒歩 15 分

車: 東名高速道路の「掛川インターチェンジ」から約 10 分、「袋井インターチェンジ」から約 15 分

無集合場所料駐車場有り(P4 駐車場をご利用ください)



大会スケジュール

9:00～9:30	受付
9:30	開会式・競技説明 初心者には初心者説明を行います。
10:00 頃	合図とともに一斉スタート、競技時間は 60 分です
11:00	ゴール
11:30～12:00	表彰式

会 場

- 会場はエコパスタジアムチケット売り場前。
駐車場は P4 駐車場をご利用下さい。 P4 駐車場から「オリエンテーリング」の登り旗で誘導します。
- コンビニエンスストアはJR愛野駅前が一番近い店舗です。(徒歩 15 分)
建物内での飲食は禁止です(屋外可)。
- 男女とも更衣室を用意します。
更衣室: スタジアム内 男子: 研修室 1 女子: 研修室 2
無人となりますので貴重品等は置かないようにしてください。

競技形式 スコアオリエンテーリング 競技時間 60 分
競技の流れ(スコアオリエンテーリング)を参照して下さい。

地 図 縮尺:1/7,500 等高線間隔:5m 通行可能度:4 段階

クラス分け

- ・個人 A 男子 : 15 歳以上 (上級者対象)
- ・個人 A 女子 : 15 歳以上 (上級者対象)
- ・個人 B1 : 中学生以上 性別は問わない(初心者中級者対象)
- ・個人 B2 : 男子 65 歳以上 女子 60 歳以上
- ・個人 N : 小学 4 年生～中学生
- ・グループ B: 2～5 人のグループ 年齢性別は問わない
- ・グループ N: 小学生以下または 65 歳以上を含む 2～5 人のグループ

持ち物

- ・時計、雨具(雨天時)、タオル、コンパス(貸出あり)、他運動に必要と思われるもの。
- ・参加料: 個人 1000 円、グループ: 1グループ 1000 円 (高校生以下 500 円)
受付時にお支払いください。
- ・コンパスは、受付時に貸し出します。必要な方は申し出てください。

荒天時の対応:

前日までの天気予報で開催に危険が伴う場合は延期または中止します。
前日までに浜松オリエンテーリングクラブのホームページに掲載します。
<http://www.orienteering.com/~hama-olc/>

注意事項

- ・当日朝の体温を測ってきてください。受付時に申告をお願いします。
- ・37.5℃以上の発熱のある方は参加できません。
- ・受付時、スタート前の手指の消毒にご協力ください。
- ・マスク携帯と、着用をお願い
受付時、更衣室などの室内、スタートまでの待機時、ゴール後計測読み取り時は、マスク着用をお願いします。
- ・スタートした人は必ずゴールへ戻ってきてください。
棄権する場合でも、必ずゴールへ戻ってきてください。
- ・参加者が自分自身あるいは他へ与えた事故、損傷、損害等については、主催者はいっさい責任を

負いません。

- ・主催者は傷害保険・イベント賠償保険に加入しますが、補償内容が十分とはいえませんので、参加者各自での対応を推奨します。
- ・自分の健康状態をよく考えて参加、および競技を行ってください。
- ・途中、車道や駐車場を横断する場合がありますので、車には十分気をつけてください。
- ・自分で出したゴミは自分で持ち帰ってください。会場を汚さないようにご協力願います。

○競技の流れ（スコアオリエンテーリング）

一定の**競技時間（今回は 60 分）**の中で、あらかじめ点数が決まっている地図の中のコントロール（地点）を、自由な順序で回ってきて総得点を競うスコアオリエンテーリング方式で行います。

得点配分

A クラス、B クラス 全30コントロール

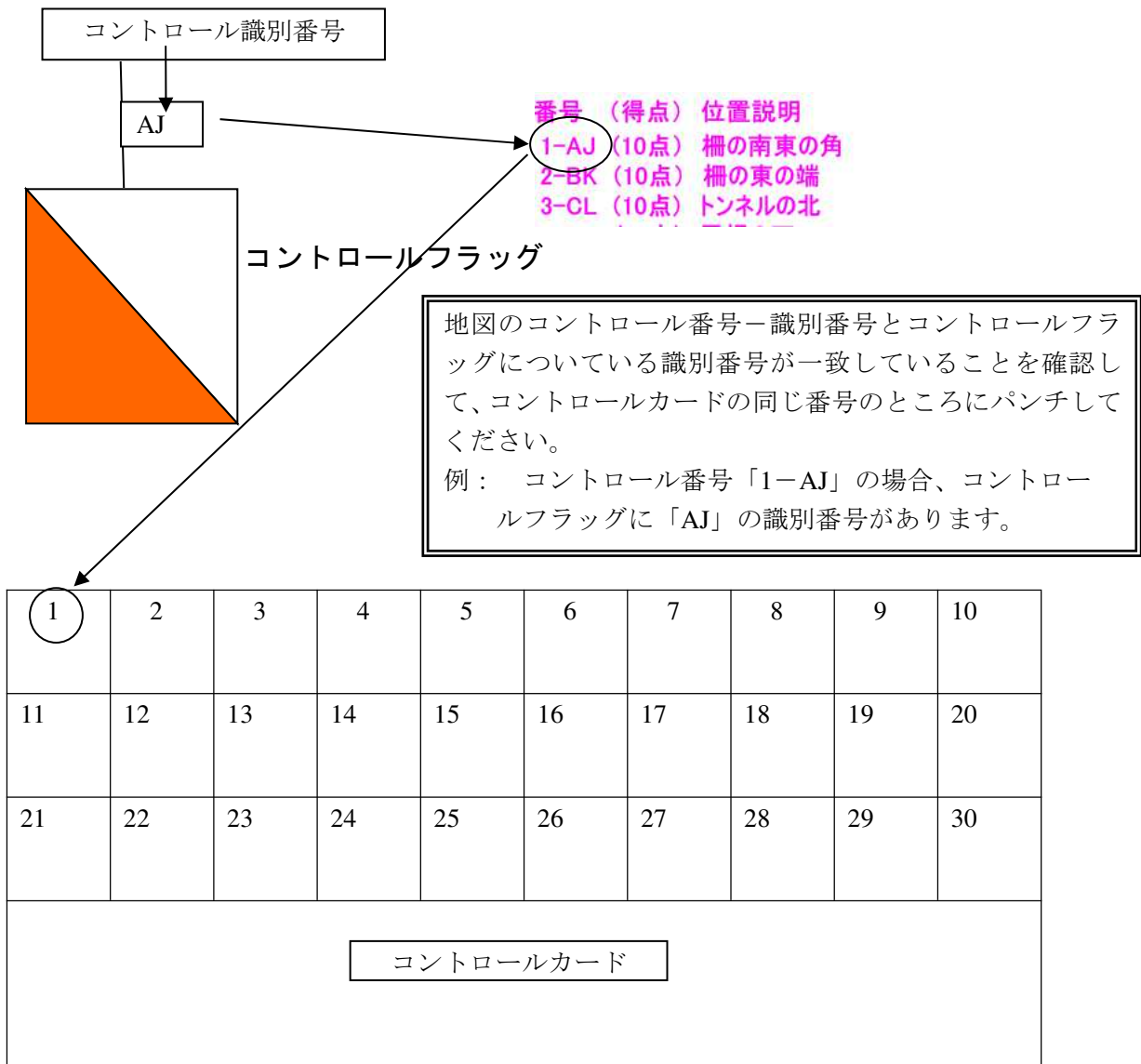
コントロール番号	1～10	各10点	
	11～20	各20点	合計600点満点
	21～30	各30点	

N クラス 全20コントロール

コントロール番号	1～10	各10点	
	11～20	各20点	合計300点満点

1. 係員の指示でスタート枠の中に入ってください。手指の消毒にご協力ください。
スタート枠は、A クラス（個人 A 男子、個人 A 女子）、B クラス（個人 B1、個人 B2、グループ B）
N クラス（個人 N、グループ N）で枠が分かれています。間違えないようにお願いします。
2. スタート 5 分前に地図を配ります。
地図は、A クラス、B クラス、N クラスで異なります。参加クラスの地図を受け取ってください。
3. 合図とともにスタートしてください。地図上の△がスタート（現在位置）です。
4. 地図上の○の位置へ行くとコントロールフラッグ（旗）が吊り下がっています。
コントロールフラッグ：1面が 30×30cm の白とオレンジの3面体のフラッグ
コントロール識別番号を確認して、一緒に吊り下がっているパンチで、コントロールカードにパンチして下さい。もし、間違えてパンチした場合は、指で穴をつぶして正しいところにパンチをやり直してください。
例：地図上のコントロール番号1は、コントロール識別番号「AJ」です。コントロールに行くと、コントロールフラッグに「AJ」の表示があります。間違えないか確認してください。
5. 回る順番は決められていません。
自分で効率よく回る順番と距離を考えて、回ってきて下さい。
全部を回ってくる必要はありませんが、点数の合計の高い人から順位がつきます。
同点の場合、全コントロールを回った場合は、ゴール時間の早い順に順位がつきます。
6. 制限時刻が近づいたらゴールへ向かいましょう。◎がゴールです。
スタートとゴールは同じ場所です。グループは全員そろってゴールしてください。
遅刻は**1分につき10点減点**です。

表彰 各クラス上位3チームまでを表彰します（参加3人、3グループ以下のクラスは、1位のみ表彰）
個人 A クラスにおいて、静岡県オリエンテーリング協会会員でトップの方を特別表彰します。



○迷わないためのヒント

1. 縮尺は 1/7,500、地図上の 1cm は実際には 75m です。
2. 等高線間隔は 5m、等高線の間隔が狭いほど坂は急です。
3. 前半 30 分は遠くまで行き、残りの 30 分で戻ってくるように時間配分を考えるとよいでしょう。
 近くのコントロールは最後に回して、時間があれば取るようにすれば時間内に効率よく回ることができます。

○地図の表記

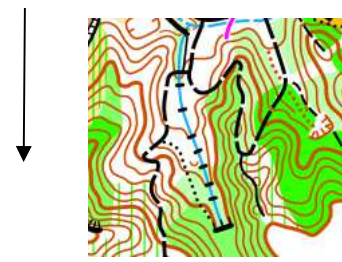
オリエンテーリングの地図では、特徴物を簡略化した記号で表示しています。これは国際的に統一されており、それぞれの記号の説明は、地図の端の方に記載しています。特徴物はそのイメージごとに 5 色で表現されており、大まかに区分すると以下の通りです。

- ・黒色：道や建物などの人工物、岩石など
- ・茶色：地形に関するもの(等高線、土がけ、穴など)
- ・青色：水に関するもの(川や池、湿地など)
- ・黄色：開けていて見通しがよい土地(田畑、伐採地、広場など)
- ・緑色：植生(森林内の通りやすさ)の度合い

オリエンテーリングの地図が一般の地図ともっとも異なっている点は、植生の表示(緑色)です。森林の植生状態に応じて 4 段階(ないし 3 段階)で通行可能性が表記されています(今大会の地図は 4 段階表記です)。

- ・白色 : 走行容易な林
- ・薄緑色(薄) : 走行可能の林
- ・薄緑色(濃) : 走行困難(通行は可能)な林
- ・緑色 : 通行困難の林(やぶがひどく、ほとんど進めない)

緑色が濃くなるほど通りにくい



また「見た目は通りやすそうだが、倒木などで足元が通りにくい」場合は、緑色の縦じま(ハッチ)の密度で通りにくさを表現しています。

この5色に、スタート・ゴール・コントロールの位置や説明などを表す赤紫色が加わって競技用の地図が構成されています

○地図とコンパスの使い方

例えばこんな経験はありませんか？

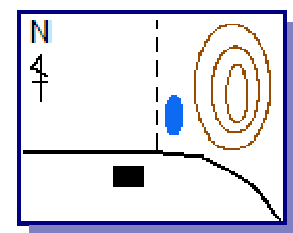
車で遠出の旅をすることになりました。あなたは助手席に座って、ドライバーに「次の信号を左に曲がって」とか「今度は右手の細い道に入って」など、地図を見て道順を指示します。次々と変わる景色、あちこち地図を見ているうちに、

いつの間にか迷ってしまった…

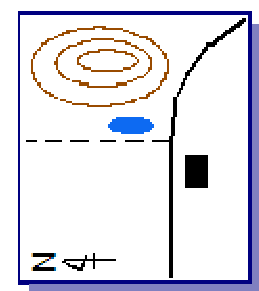
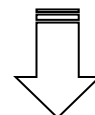
オリエンテーリングでも、ポイントにたどり着くまでに、「自分はこの場所において、進みたい方向はあっちだ。」というように、地図を見て(読んで)いかななくてはなりません。あなたは今、目の前の道を歩こうとしています。目の前に広がる風景は右の図(A)のような感じです。左に曲がる細い道が見えていて、その奥には池と大きな山があります。道の右側には建物があります。コンパス



(A)



(B)



(C)

(方位磁石)の北は、あなたの左手方向を指しています。この風景を地図で確認する場合、地図をどのように見たらわかりやすいでしょうか？(B)のように地図を見ている場合、あなたが道をまっすぐ進むと、地図中では右のほうに進行しています。つまり、分かれ道や山・建物の方向を実際の風景と対比させる時に、頭の中で地図を回転させなければなりません。

では、(C)のように、地図の磁北とコンパスの針の北の方向とを平行に合わせた状態で地図を見てみましょう。すると、あなたの見ている風景と地図の向きとが一致します。すなわち、左に曲がる道が地図の左側に、建物も地図中の道の右側にあります。(B)よりも地図が見やすいはずですよ

このように、地図の磁北とコンパスの針の北の方向とを合わせた状態で地図を見ることを、「地図の正置(せいち)」をすることといいます。地図を正置することによって、自分が見ている風景と地図中の特徴物(道、地形など)の位置・方向関係とが一致し、地図の情報が読み取りやすくなります。

このあと、もし道の分岐のところで左手の細い道に進むのならば、地図をまた(B)のように持ち直せば読みやすくなります。このように、道を曲がるたびに地図とコンパスの北を合わせていけば、いつでも、自分の見ている風景が地図と一致し、どちらに進んでいるのかわからなくなることも少なくなるでしょう。